

☆ 高浜町

議会だより

一般会計 補正予算

付帯決議!!

- トピックス …………… 2～3ページ
- 一般質問 …………… 4～9ページ
- 各委員会報告 …………… 9～14ページ
- 質疑・討論 …………… 15～16ページ
- 視察研修報告 …………… 17ページ
- 更正保護活動・編集後記 …… 18ページ



第111号

ヒートポンプシステム導入の大規模農業ハウスを

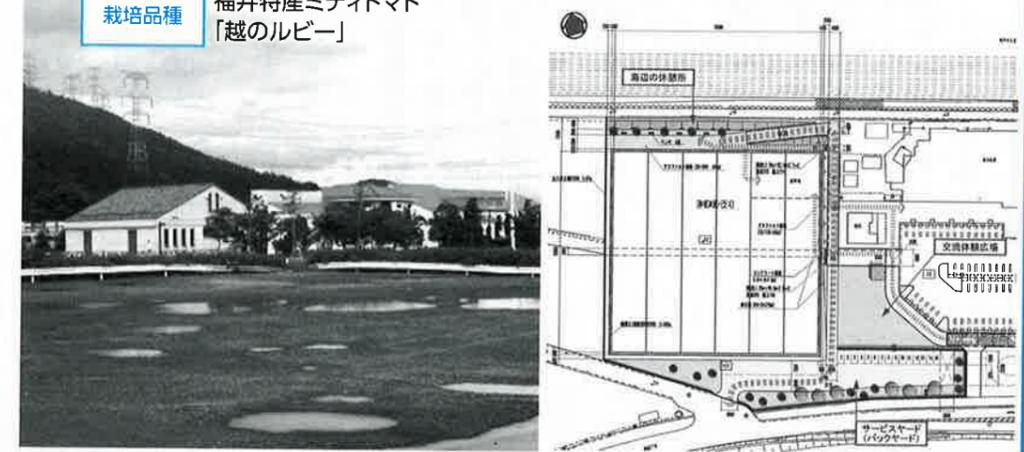
湯つふる横に! 建設!!



- 新規事業費の内容** 新しい農業(エコ農業)創出事業
- 事業目的** 最新の養液栽培システムの活用により周年的な園芸作物の生産・販売を促進し安定した収入、雇用の確保と新しいスタイルの農業後継者の育成。
- 事業主体** 備いいきタウン高浜
- 事業実施場所** 高浜町下車持道の駅「シーサイド高浜」西側の町有地
- 敷地規模 栽培面積** 敷地 7,250㎡(0.73ha) 栽培 5,400㎡(900㎡×6棟)
- 栽培品種** 福井特産ミディトマト「越のルビー」

新規事業費 2億1,870万円 (内 県費 1億530万円 一般財源 1億1,340万円)

新しい農業 エコ農業の創出を



隣接民有地を借り上げ、国道から直接乗り入れ可能に!!



保健福祉センター進入路新設



- 新規事業費の内容** 保健福祉センター進入路新設工事及び用地測量業務
- 事業目的** 隣接する民有地を借り上げ、国道27号線から保健福祉センターに直接乗入できる乗入口を新設し、利用者の利便向上を図る。

新規事業費 1,250万5千円 (全て一般財源)

■事業内訳 (単位:千円)

事業概要	金額
測量調査設計業務委託料	2,610
駐車場及び進入路用地借上料	382
進入路新設工事	9,513



予定進入路

コンパクトシティ関連 大型3事業に特段の考慮を求める!



■議案第43号 平成24年度高浜町一般会計補正予算(第1号)に対する付帯決議

平成24年度高浜町一般会計補正予算(第1号)を執行するにあたり、次の諸点について特段の考慮を払うべきである。

記

①総務費の庁舎公民館建設事業について事業計画の内容を広く住民に周知し意見を求めることとし、計画の実行にあたっては住民意見を柔軟に取り入れて実行すること。 →①新庁舎公民館建設事業

②商工費の城山荘と城山公園の再整備利用運営を検討するにあたっては、事業計画の妥当性について慎重に検討し、事業化の決定は原子力制作の政府方針が固まり、財政の見通しが立った後とすること。 →②観光振興対策事業

③農林水産費の漁港再整備の計画を検討するにあたっては、高浜町を取り巻く環境を十分考慮し、財政上の問題が生じない計画とすること。 →③漁港管理一般事業

以上、決議する。

①新庁舎公民館建設事業

新規事業費の内容 新庁舎公民館整備検討業務委託料・他一式

新規事業費 981万5千円 (全て一般財源)

②観光振興対策事業

新規事業費の内容 城山荘・公園再整備利用運営検討業務他一式

新規事業費 825万4千円 (内 国庫 530万円 一般財源 295万4千円)

③漁港管理一般事業

新規事業費の内容 漁業振興ビジョン策定業務

新規事業費 1,556万1千円 (内 電源 1,240万円 一般財源 316万1千円)

新規事業費の内容 漁港外郭施設整備測量調査業務

新規事業費 520万8千円 (内 電源 410万円 一般財源 110万8千円)



若宮グランド整備工事



■事業内訳

事業概要	数量
グランド整備	A=1,400㎡
土舗装工	A=1,400㎡
緑化工	A=184㎡
附属施設工	1式
道路整備	L=30.6m W=5.0m
擁壁工	1式
側溝工	1式
舗装工	A=128㎡
駐車場整備工	A=357㎡

事業目的 庁舎公民館建設に伴い、旧山喜グランド利用者の代替グランド、また、進入路新設により近隣住民の利便性向上を図る。



新規事業費 821万1千円 (全て一般財源)



使用済燃料、知見を活かした保管を

答弁 全原協で検討し意見提起

磯部 武史 議員

【磯部】

福島第1発電所4号機は、震災当時定検中で停止し、現在の高浜発電所と同じ状態であった。

しかし、4号機が危険視されているのは、使用済み燃料の保管数によるものである。

保安院は、事故の技術的知見として、使用済燃料プールだけの保管ではなく、冷却設備に設置（冷却に電源を要さないプール）や乾式貯蔵の採用などによる、貯蔵の分散化を図ることが求められるとされている。

【町長・防災安全課長】

プールでの保管は脆弱性も顕在化し、今後サイト内での保管は乾式キャスクという事も考えられようかと思う。

全国原子力発電所在市町村協議会の、ワーキンググループ等で検討する事となっているので、本年度意見提起なされていくと思う。

◆原発停止による町財政と地元経済への影響について

【磯部】

関連企業に勤務される町民が悲鳴を上げている。商工会や観光協会の方からもうそういった声が聞こえてくる。具体的な対策はあるのか。

また、町財政への影響はどの程度あるのか。

【総務課長・まちづくり課長】

商工会のアンケートでは、売上が減少した企業は全体の81%であり、原発関連の労働者が就職相談に殺到しているなど、非常に厳しい状況であることは認識している。

賃金助成制度や相談窓口開設、国に対しても経済対策を強く要望していく。

町財政への影響は、地方税や交付金の制度上、廃炉とならない限り減収部分は限定的であると試算している。

高浜町総合計画の前期実施計画について

答弁 今後の動向次第では見直し又は先送りも視野

横田 則孝 議員

【横田】

平成23年度において町づくりの指針、方針を示す高浜町総合計画が策定され、今年3月末には前期実施計画概要版を町内に配布された。まさに構想から実現の時期を迎えた。町民の要望を踏まえながら前期実施計画のコンパクトシティ計画等の優先順位をどのように示すのか、国のエネルギー政策が不透明な中での財源確保はどうか。町民への説明責任をどのように果たすのか。

【町長】

今、町民の関心は、生活の安心、安全に移っている。特に防災面における対策が喫緊の課題と考える。老朽化した役場庁舎の整備、浸水多発地域の減災対策、そして緊急避難道等の複線化を考えている。城山、漁港エリアの再整備については、まだまだ検討すべき項目と考える。財源の見直しについては、短期的には影響は限定的と認識し

ている。

有線放送で番組を作り放映し、丁寧に説明したい。

◆防災安全課設置について

【横田】

6月1日より機構改革により庁舎内に防災安全課を設置されたが今後の取組みについて

早急に防災計画の見直しと自主防災組織の立ち上げが必要と考えるかどうか

【町長】

業務内容は、防災・消防・防犯・交通・有線・原子力政策などの業務である。課題として地域防災計画の見直しや自主防災組織の育成と考える。専門のアドバイザーを招き「防災後援会」「防災セミナー」を開催し、地域の皆様と一緒に自主防災組織の立ち上げに努力したい。



雇用の確保の戦略を問う

答弁 支援策を検討する

栗野 明雄 議員

【栗野】

現在、原子力の状態が不安定である。この状態をチャンスと捉らえ、原子力以外の職場を構築し、職場の多様化を図り、バランスのとれた町を創るときである。

町としての戦略を問う。

【まちづくり課長】

発電所停止による産業へのダメージは計り知れないものがある。企業誘致、一次産業の六次産業化を進めたい。いきいきタウンが主体で計画している「オールシーズン園芸モデル事業」も新たな雇用につながるものとして期待している。国、県でも新たな事業の創出と雇用の拡大について、支援策を検討している。

◆人材育成の方策を問う

【栗野】

町づくりは人づくりの言葉は誰でも理解していると思う。コンパクトシティ構想では、箱物の計画もある。人材という中身の充実が

必要である。人づくりの覚悟を問う。

【総務課長】

人材育成が最上位の課題であることは認識している。

組織の命運は人材次第である。高浜町では、新たな評価制度を導入している。力を入れたいのは、ミドル・アップ&ダウンの仕組み作りである。これはミドル層がどんな意見を言える仕組みである。縦割り行政から横のつながり・連携を意識し、一枚岩の役場を作りたい。

◆安全な国道作りをめざせ

【栗野】

宮崎の変電所前の交差点に右折レーンを望む。また、荒れた国道を早急に修理すべき。

【建設整備課長】

住民意向などをふまえて検討したい。蘭部交差点付近の、約300mを舗装修繕をする予定である。

使用済み核燃料の中間貯蔵について

答弁 全原協で検討を進める

清常 光洋 議員



【清常】

使用済み核燃料を再処理してプルトニウムを取り出し、燃料を再利用する核燃料サイクルは、原子力政策の基本とされてきたところであるが、六力所村の再処理工場はトラブル続きで、稼働の見通しは立っていない。

この様な情勢の下では、使用済み核燃料は発電所敷地内で溜まり続ける事となる。

バックエンド対策が喫緊の課題と考えるが町長の見解を問う。

【町長】

基本的スタンスとして、使用済み燃料はサイト内に留める様な事とせず、中間貯蔵施設に移す事を望んでいるが、現状はその様にはなっていない。

停滞する再処理問題の現実を直視し、国が積極的に責任を果たすよう「全国原子力発電所所在市町村協議会」の検討課題として取り組んで行く。

【清常】

福島原発事故を踏まえ、高浜発電所の中長期の安全対策について、緊急対策として電源車配置、非常用発電装置配備、海水送水用ポンプ車配備、ブルドーザー配備等多くの安全対策がなされている。

しかしながら、防潮堤の設置については、中長期での対応として平成28年3月完成の工程が示されている。

又、免震事務棟の新設についても中長期での対応とされている。

防潮堤、免震事務棟について工程を早めるよう、関西電力に申し入れる考えはないか。

【防災安全課長】

防潮堤については平成27年度完成の工程で、免震事務棟については平成28年度完成の工程で、現在は構内で地質調査に取りかかる段階であり、工程の詳細な確認を行い、早期に着手するよう事業者に対し申し入れていきたい。



原発再稼働の見解は

渡邊 孝議員

【渡邊】 予想される大規模地震災害では、飲料水の確保も重大な問題となる。上水道センターなど期間水道構造物や、管路の耐震化について、現状と課題について問う。

【上下水道課長】

平成19年度実施の耐震診断結果は、上水道センターなど主要施設の強度は足りなかった。現在、平成20年策定の「高浜町水道ビジョン」にしたがい取水井戸、配水池の耐震補強工事は実施した。上水道センター管理棟、機械棟、また約100kmの配水管などの耐震工事は時間と費用がかかることもあり、計画的にすすめる。

【渡邊】

野瀬町長は、原発の再稼働を急ぐべきといわれる。しかし、福島原発事故の原因究明は始まったばかりである。また、政府がいう「安全対策」も不十分であり、避難計画もない。まともな原子力規制機関もつくられていない。これによって安全といえるのか。

また、原発を動かせば使用済み核燃料が出てくる。子々孫々にその管理を押し付けることになる。心が痛まないか。見解を問う。

【町長】

福島原発事故の根本原因は津波により前交流電源喪失によるものと考えている。高浜発電所ではそのための安全対策がとられている。次に、「安全対策」は、各原発が立地する自然、地形的リスクを勘案する必要がある。こちらでは海溝型地震は起きない。また、原子力防災計画は実効性あるものでなければならぬ。新たな原子力規制機関については、一日も早い規制制度と体制が整備されることを願っている。

使用済み燃料の課題は原子力政策のエネルギー源である。しかし、どのエネルギー源にも課題とリスクがあり、原子力発電の問題点のみ取り上げるのは責任ある判断とはいえないと考える。

「原発再稼働問題」に関する 民意の集約方法について問う

答弁 様々な手法を重ね最適な方法を検討したい



大塚 ひとみ議員

【大塚】

大飯原発の再稼働問題についておおい町では住民説明会が開催されたが、高浜原発においても近い将来、大飯原発と同様に何らかの形で地元の意見集約をしていくことになると思うが、現時点で、町長は「原発再稼働問題」に関する民意の集約方法についてどのように考えているか。

【町長】

民意の集約は大変重要な課題と認識している。おおい町のやり方で本当に住民の本音が聞き出せたのか検証が必要だと思っている。

再稼働に対する批判が全国的に巻き起こっている中でオープンな手法を取った場合、本音の意見、多様な意見が聞けない可能性もある。区長さんとの意見交換や議員の皆さんからの情報収集等、様々な手法を重ね最適な方法を検討したい。

◆国体種目トリアスロン・セーリングの開催と観光の活性化について

また、高浜の海を舞台に繰り広げられ、高浜町をアピールする絶好の機会と捉えている。

トリアスロン競技については、国体前から一定規模の大会を催し、さらに国体後も継続し恒常的に、高浜町の知名度アップを図りたい。

またセーリング競技においても同様、国体終了後の定期的な大会誘致により、マリナーの利活用も含め観光振興の一助としたい。

高浜病院の譲渡はどのようなのか

答弁



小幡 憲仁議員

地域医療を守るため町が譲渡を受ける選択肢は持っている

【小幡】

野瀬町政2期目の重要課題である高浜病院の譲渡について問う。

【町長】

譲渡を受ける選択肢は持っている。譲渡後の病院経営は独立行政法人の設立が望ましいが、時間の制約から自治体病院の運営実績がある医療法人等への指定管理を視野に入れ協議中である。

現時点で高浜病院内の職員に、町へ譲渡されることに対する理解が進んでいない面もあるが、国や高浜病院を運営する全社連との協議では町への譲渡に協力いただける体制になりつつあることから、運営受託法人の目的が立てば、秋頃までに最終的な結論を出したい。

◆予防接種について

【小幡】

高浜町における任意予防接種の現状と、予防接種率の向上のための施策について問う。また、予防接種率向上のため公費助成の拡大

を提案する。

【保健課長】

任意予防接種については、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌のワクチンに公費助成している。他の任意予防接種は全て自己負担。

【町長】

予防接種率向上による病気の予防は、子供の健康と医療費抑制の両方を得ることができるとの意見に同感である。検討したい。

◆学校教育におけるタブレット型端末の導入について

【小幡】

学校教育にタブレット型端末の導入に向けた準備に着手すべき。

【教育委員会事務局長】

タブレット型端末を導入するための学校の環境は整いつつある。現在、内浦小中学校をモデル校としてタブレット型端末導入の検討を進めている。

福井国体、高浜町の体制万全か？

答弁 平成25年度に国体準備室設置



山本 富夫議員

【山本】

平成30年福井国体開催決定。高浜町はトリアスロン・セーリングを誘致と海を舞台に競技が行われる。組織・会場周辺整備・ジュニア世代を中心とした選手の育成支援についての考えを？

【教育長】

平成25年度に事務局内に国体準備室を設置する。セーリング競技は、和田マリナーの会場での消波ブロックの撤去の検討。国体開催時は仮設等で対応予定。県に管理棟・レストハウスなどの改修を要望していく。トリアスロン競技は、和田海水浴場を中心に競技に向けた状況調査を25年度中に確認する。選手育成については、競技力向上基本計画を策定し、県体協や各種団体等が行う計画を支援。

ジュニア選手拡大推進事業の展開で本年度にトリアスロン体験教室を9月に開催予定。予算面では、スポーツ振興助成金の予算額増額も含め25年度以降に充実に向け財

政当局に特段の配慮を求めていく。

【山本】

国道27号線の問題点について、路盤の損傷、歩道幅員で高野橋付近が狭い、青郷公民館付近が整備されていない。又、文化会館口交差点信号機で湯谷区側からの青の時間が短く通行量の増加による安全性を確保する上で青時間を少し長くできないか。

【建設整備課・防災安全課】

蘭部交差点付近、前後約300mの舗装修繕を行い、その他も予算状況により順次、修繕を行う予定。関屋交差点付近の歩道整備は、国交省福井事務所と現地立会いを行い、具体案も検討。青郷公民館東側の未整備区間や他の区間も国には継続的に要望している。信号機青時間延長は、県公安委員会へ要望している。JRの踏み切等、事故の危険度も高く、何らかの安全対策が必要と認識している。



横断歩道の設置

答弁 安全確保

廣瀬 とし子議員

【廣瀬】 4月5日青葉ふれあいドーム（池田山公園）が開設されました。その後、利用者が多く賑わっています。子ども・老人が、県道を渡る機会も多く見受けられますが、この道路は原電関係車両が頻りに往來する道路であり、危険を伴い危惧している。子ども・老人の安全を守るためには、専用横断標識や横断用信号機を設置しては如何か問う。

◆汐入川の汚水排水
 【廣瀬】 高浜病院の裏手、郵便局横、汐入川の川は滞留したままで、メタンガス等悪臭を伴う水である。衛生的にも環境にも悪い。年一回の清掃では間に合わない。海拔0mといいながらそのまま放置しておくつもりか。強制的に排水を促す方法を考えては如何か。

【防災安全課長】

青葉ふれあいドームの県道からの入り口には横断歩道がないためドーム前を通過し、約70mほど先の横断歩道を渡り、路側帯を通過してふれあいドームに行くことになる。県道の交通量も多く、非常に危険な状況にあり、歩行者の安全対策が必要と感じている。県道を管理する福井県また県公安委員会に現地調査を依頼する。ドーム側への歩道の整備など、利用者が安全に施設を利用できるように安全対策を講じていく考えである。

【建設整備課長】

以前にも検討しましたが建設費に約1億円、その他に維持管理費が毎年必要になってくる。事業実施は困難である。悪臭が発生する原因は水質の悪い澱んだ水、生活雑排水等が気温の高い時期に腐敗するので、今後の対策は、汐入川の浚渫の頻度を状況によって変えるなど検討する。



地域の防災教育の充実で生命を守れ

答弁 防災マニュアルの見直し

西出 秀雄議員



【西出】 ①地域全体の防災教育は。②家庭や地域の防災教育は。③学校での防災教育は。

【防災安全課長】 ①自主防災組織、立ち上げの支援、防災アドバイザーによる講演会、セミナーを計画し、地域の防災計画を策定する。②防災アドバイザーの派遣や、地域での活動の支援、資機材の整備の支援を検討する。

【教育長】

③学校で防災訓練、年2回実施、防災マニュアル作成と見直し、講習会を行う。

◆下水道について

【西出】

①加入率と設置助成制度について。②せせらぎランド処理機能は。

【上下水道課長】

①平成24年3月末で、公共下水道93・3%、集落排水で94・6%



庁舎・公民館建設用地は

答弁

教育会館・旧山喜跡地として理解を求めていく

上尾 徳郎議員

【上尾】 用地選定の根拠と説明責任は。

【町長】

根拠として①公共交通機関のアクセスが良い②災害拠点として警察・消防署に近く有利である③絶好の立地場所にある広い町有地であり用地買収が不要で経済的である④概算の必要床面積（約5600m²）駐車場（約130台）緑地帯を加えた必要敷地が適当な規模である。コンパクトシティ構想の理念に沿った適地と考える。

今後、広報誌や有線テレビを活用して事業説明しながら町道大西線付け替えなどの検証も含め様々提案を求めていく。

【下尾】

具現化に向けた各事業の推進体制及び責任体制と事業間の作業スケジュールの調整や見直しは。

【町長】

事業毎の所管課が担当責任部署で推進するが、全体調整として、コンパクト推進室や主要関連課に

嶺南広域行政組合議会

委員 西出 秀雄

◇3月28日（水）午前10時より

敦賀市立図書館議場（3F）

会議録署名議員、13番清水正

信、14番西出秀雄が指名され、議員の議席の一部変更があった。

第1号議案

平成23年度一般会計補正（第1号）

歳入歳出それぞれ4億96667

万4千円を減額、総額6億

8796万7千円、主な減額は県

からの核燃料税の減。

第2号議案

平成24年度一般会計予算

歳入歳出それぞれ、10億

1131万3千円となる。

第3号議案

福井県市町総合事務組合規約の変更

により、同規約の変更について。

以上3件全員賛成で可決

【一般質問】清水正信議員から北

陸新幹線若狭ルートについて。

籠一郎議員から広域組合の災害

時の防災計画について。

若狭消防組合議会

委員 大塚 ひとみ

◇3月27日（火）

若狭消防組合本部3階

◆第158回若狭消防組合議会定例会

議案第5号

平成24年度若狭消防組合一般会計予

算

歳入歳出それぞれ14億3235

万2千円となる。

議案第6号

若狭消防組合職員の分限に関する手

続き及び効果に関する条例の一部改正

について

議案第7号

若狭消防組合火災予防条例の一部改

正について

議案第8号

若狭消防組合手数料条例の一部改正に

ついて

以上4議案審議され慎重審議の

結果全員賛成で可決。

予算決算常任委員会

委員長 西出 秀雄

◇6月11日(月)

審議事項

付託案件の審査

議案第43号

平成24年度高浜町一般会計補正予算

【補正予算の概要】

歳入歳出それぞれ8億693万7千円を追加し、総額78億8684万6千円について審査。

【審議(質疑)の概要】

◆総務費

若宮グランド整備工事について。

道路の新設、幅5m、グランド1400m²、駐車場357m²で住民の利便性を図る。

新庁舎公民館整備検討業務委託費について。

プロポーザル(設計者選定)にむけて、防災機能も含めた検討業務の調査・資料作りやサポートをするコンサルタントの委託業務。

者を指名入札にて委託する。

住民参加で建設検討委員会を設置してプロポーザルを実施する。

無駄のない建設計画を立てる事業費の縮小を計り、現在の庁舎についても再利用も含めて調査検討するように求める。

◆民生費

保健センター進入路工事について。

民有地を借り上げ、国道27号からの乗入口を新設、土地1017m²、一部畑と駐車場。

◆農林水産業費

漁港整備について。

国庫補助と申請を急ぐため、資金の計画と、組合、地元の見解等の調整が必要であり、検討委員会で検討する。

◆商工費

城山荘、公園整備について。

プロポーザルにむけた意見交換や事業計画の協議検討作業のための調査・資料作りのコンサルタントの指名入札による委託事業や埋蔵文化財の試掘調査業務等だが、プロポーザルは町の財政状況を見

ながら慎重に実施すべきである。

ヒートポンプ導入の大規模農業ハウスについて。

(株)いきいきタウン高浜が事業主体でのエコモデルの大規模農業ハウスの園芸事業であるが、県の補助事業としては農業者育成支援の制度との事で、その関わりが議論された。事業者が担い手の青年農業者にハウスを貸し出すこと、ハウス建設や経営管理などを「A経済連」の業務提携の中で委託するとの事である。

◆教育費

中央体育施設擁壁改修事業について。



中央体育施設擁壁改修事業

3年計画で、法枠工、アンカー工、ブロック積工で行う。南区の階段は、工事後に設置する。

各学校のプール改修について。

シャワーの取替や、プールのステンレスの交換とフェンス等の改修。維持管理をしっかりと行う。

◆土木費

危険箇所監視カメラ設置費について。

町内の冠水が予想される道路(高浜駅前佐々木薬局・高浜中前の橋・郷土資料館前・畑の踏み切り・大成寺跨道橋)に監視カメラを設置する。状況をホームページで見えるようにまた、水位などの表示も出来るよう検討して欲しい。

内浦地区、避難道の複線化について。

宮尾地区から五色山(柿ヶ渡線)の道路整備の測量を実施する。他の案件にも慎重審議したうえで、大型事業(庁舎公民館・城山荘公園整備・漁港整備)に対して、財政的不安がある中で計画実施にあたって慎重を期すべきの付帯決議を採択した。

【賛成多数で可決】

総務産業常任委員会

委員長 磯部 武史

◇6月12日(火)

議案第44号

平成24年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

雨水対策施設整備事業2718万7千円を追加補正し、調整池基本設計業務、調整池用地測量業務、調整池土質調査業務、物件調査業務をそれぞれ委託する。

民有地を買収するに当たり、その面積、価格はどうか。

面積は約3000m²、単価は今予算で不動産鑑定評価を行う予算を計上している。

貯水池に溜めた雨水の再利用や、上部の利用法はどうか。

雨水の再利用は、公園の散水用など全国の事例を収集して検討したい。上部にできる土地の利用法については、現在白紙状態であるが、現在のようにグラウンドとして利用することは十分可能である。地元の意見を十分聞いて検討する。

どれくらいの雨量になれば貯水池に入れるのか。

46・8mmで設計しており、潮位や子生川の水位を監視カメラや水位計で観測し、そろそろ道路にあふれてくるというポイントで水を取りだしたいと考えている。湯谷流域で水を取ると、下に流れだす量が非常に抑制できる。

ただ、46・8mmで設計しているものでそれ以上の雨量や、長時間に降り続いた場合などは満水になる可能性もある。

廃土の場所は確保してあるのか。

数千m³の廃土が出るため、確定はしていないが、安土の埋立地にならせばほとんど影響がない程度に収まるのではないかと考えている。

【全員賛成で原案通り可決】

議案第47号

高浜町農業及び漁業集落排水処理施設の設定及び管理に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成で原案通り可決】

ながら慎重に実施すべきである。

ヒートポンプ導入の大規模農業ハウスについて。

(株)いきいきタウン高浜が事業主体でのエコモデルの大規模農業ハウスの園芸事業であるが、県の補助事業としては農業者育成支援の制度との事で、その関わりが議論された。事業者が担い手の青年農業者にハウスを貸し出すこと、ハウス建設や経営管理などを「A経済連」の業務提携の中で委託するとの事である。

◆教育費

中央体育施設擁壁改修事業について。



中央体育施設擁壁改修事業

議案第49号

高浜町下水道条例の一部を改正する条例

【全員賛成で原案通り可決】

議案第50号

新たに生じた土地の確認

避難道のトンネルを掘った土を利用し、当初計画していたところに埋め立てた3500m²はないか。

埋め立てるには、上に何を計画するかが重要で、許認可の基となる。ふ頭用地となった場合の土地の利用法について県と協議し、許認可が得られるようであれば可能かと思う。

制圧道路は、最優先の要望である。

トンネルを掘った土をどこに捨てるかといった事で、工事が遅れるといった事があってはならない。

制圧道路は県事業で、県が責任を持って行うことになるが、高浜町の協力がないと時間がかかってしまうことも想定できるため、協力をしっかりと取りたい。

【全員賛成で原案通り可決】

議案第53号

道路改良工事請負契約について

町道事代坂田線、湯谷地係の道路線形見直しと歩道の拡幅を行う工事、6195万円の道路改良工事契約の締結。

何か年かかるのか、用地買収の状況はどうか。

23~25年の3か年計画で、23年度に160m、24年度に240m、25年度に400mを予定している。用地の買収は全工区終了している。

湯谷が住宅地として開発される以前に、町の指導により墓地を移動されたという話がある。経緯を調査してほしい。

また、町内に点在する墓地が集約できるようにできないか。

墓地管理についての許認可に向けて移譲を受けたわけではないが、若狭管内の町の方向性が出れば高浜町でも受けていこうと現状調査を行っている。

湯谷の墓地についても管理状況や課題について対応していきたい。

厚生文教常任委員会

委員長 横田 則孝

◇6月13日(水)

審査事項

付託案件の審査

●請願第一号

■公的年金の改悪に反対する意見書を求める請願

【賛成少数で不採択】

●議案第45号

■高浜町印鑑条例の一部を改正する条例

住民基本台帳法の改正により、外国人登録法が廃止されることによる利便性について指摘があり、外国人の方の在留資格手続は入国管理局と市町村の両方で手続きが必要であったが入国管理局のみで済むようになる。外国人登録原票が「紙」での管理運用であったが今後は、事務処理が電算化され住民基本台帳制度へ一元化されるとの答弁があった。

【全員賛成で原案可決】

●議案第46号

■高浜町子ども医療費の助成に関する条件の一部を改正する条例

【全員賛成で原案可決】

原子力対策特別委員会

委員長 上尾 徳郎

◇6月15日(金)

◆原子力安全・保安院の取り組みの現状

地域原子力安全統括管理官の森下泰氏より、福島原発の事故原因と対策による30項目の安全対策とストレステストを含めて定められた「暫定安全基準」の説明。若狭湾の地震・津波の評価の説明を受けて後、委員より質疑があった。

●事故原因と対策

地震と津波に対する想定(評価)が あまかった。今回津波の検証を基に「波源モデル」を構築し全国の津波水位等評価の検証に用いる。

設備・手順の反省点(課題)として①外部原電の喪失②全交流電源・直流電源の喪失③冷却機能の不具合④拡大要因の閉じ込め機能の不具合⑤指揮監督施設・計装備等の不具合。これらの技術的知見から30項目の対策を立てた。

●安全確保に向けた暫定基準

【基準1】保安院の要求事項(30項目の安全対策・等) 【基準

●議案第48号

■高浜斎苑設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成で原案可決】

●議案第52号

■福井県後期高齢者医療広域連合規約変更

【全員賛成で原案可決】

★外国人住民に係る

住民基本台帳法改正について

住民基本台帳法改正の概要は、現行の外国人登録制度を廃止し、外国人住民の利便の増進及び市町村の行政の合理化を目的として、外国人住民を住民基本台帳制度の適用対象に加えるということである。

●住民票作成対象者

中长期在留者、特別永住者等を対象として住民票を作成

●住民票の記載事項

氏名、生年月日、住所等のほか国籍、在留資格や期間等を記載。



★公民館のあり方について

このたび高浜町社会教育委員会が中心となって新公民館のあり方についての提言がまとめられたので取り組みや経過又基本理念・必要性・管理運営などについての説明を受けた。

【意見交換】

教育長及び教育委員会事務局出席のもと公民館のあり方についての提言書について、意見交換を行った。

高浜地区公民館を中央公民館と兼ねる感じであるが運営はどうか。

今現在、教育会館と公民館が一緒に見えるが、生涯学習に関しては中央公民館で担っていく。

新公民館建設整備に関する教育委員会事務局基本方針

- 新公民館の名称について
 - 中央公民館の名称にこだわらず「高浜公民館(案)」とすることも可能。
- 新公民館の管理運営について
 - 館長を嘱託とし住民より委嘱、公民館主事職員は専任1名、臨時職員1名とし、他の公民館同様3名体制とする。
 - 町内4公民館のとりまとめを教育委員会が行う。
 - 建物の管理は高浜公民館が行う。
 - 各公民館に、館長を中心とした運営について協議する体制を整えること。
- 新公民館の業務について
 - 高浜公民館としての業務と併せて、町全体を見据えた社会教育(生涯学習事業)の展開と情報発信などの業務を兼務する。
- 新公民館の施設について
 - 放課後児童クラブスペースについて、事業本来の趣旨に基づき各学校で実施することを第一目標とする。
 - 個室相談室の設置(正面玄関以外からの入出可能な位置に)
 - 各種団体ルーム、書類保管庫等については建物全体のキャパ等を勘案し検討する。



社会教育の事務局はどこにおくのか又公民館の人員体制は何か。社会教育の担当者は教育委員になる。人員は館長、主事職員1名、臨時職員1名の3名体制になる。各地域によって公民館活動が違うと思う。活動運営についてどのように考えているのか。活動については各館長に委ねたい。各委員から、活発な意見が出された。高浜公民館建設整備については、ワーキンググループなど町民の意見を広く聞いていただき、多くの意見集約の中で進めていただくことを願う。

◆防災安全課の原子力対策は

防災安全課を新設し、原子力防災の取り組みについて聞いた。以前より事業者との安全協定に基づき安全対策に取組んできたが、県とも協議しながら進めていく。地域防災計画の中で自主防災組織の立ち上げに取組んでいる。

高浜発電所視察研修 2重3重の安全対策を実施

6月15日午前の委員会終了後、午後より委員全員(13名)議長・局長が参加して発電所ビクターズハウスにて「研修会」の後、3号機を中心に構内を視察し安全対策の現場を確認した。

●今夏の電力需要

京都支店副支店長より夏の電力需要と供給の状況説明を受けた。委員から不足予想日数や火力・揚水発電所からの供給体制また計画停電実施時の区域割り等の質問があった。

●安全性・信頼性向上の取り組み

所長より「安全性・信頼性向上の取り組み」と対策の実施状況(電源・水源の確保・浸水対策・



電源接続訓練

●現場視察

防潮堤設置計画・使用済み燃料ピット冷却機能の確保)やシビアアクシデント対策(ソフト・設備面)また大飯3・4号機の現況やストレステストについての説明を受けた。委員から免震事務棟やフィルタベント・緊急時の社員召集・協力会社支援体制や使用済み燃料の扱い等の質問があった。

防潮堤の設置場所・空冷式非常用発電装置を使用した電源接続訓練・大容量海水ポンプ(3・4号機循環水ポンプエリア)・タービン動補助給水ポンプ・非常用ディーゼル発電機・蓄電池・水密扉(一階)・緊急時対策所・がれき撤去用重機の配置・等、詳しく説明を受けながら現場の状況を確認した。

地域医療対策特別委員会

委員長 廣瀬とし子

◇6月14日(木)

◆たかはま地域医療サポーターの会
無理しない・批判しない・消滅し
ないの3ない活動

井階先生・サポーターの会より
3名・保健課長・地域医療推進室
より2名出席のもと、現状及び今
後の活動について、意見交換を行
った。第1回地域医療フォーラム
後2009年9月発足から3年に
なる。地域医療福祉の推進や住民
啓発について、「住民の立場で考
え実行しよう」と集まった住民有
志の方々、医療・行政・住民・三
位一体で、地域医療課題の「かけ
はし」を目指しています。現在
29名のメンバーで活動し月1回
の定例会を開き反省の中で住民の
方々に関心を持ってもらえるには、
外に出て(公民館・サロン・団
体)等と呼びかける。今までの活
動報告は、地域医療フォーラム5
回・啓発グッズ作成・講演シンポ
ジウム参加して勉強する。今後の
活動計画は医療フォーラムや啓発
ビデオの企画・地域医療を守り育

てる五か条なども取り組んでおら
れる。住民のひとりひとりが医療
に対して関心を持つことが大切で
ある。病院があつて当たり前では
ない。また病院が無くなれば大変
である。地域の医療は住民を守る
べきである。

◆特別養護老人ホーム

「高浜けいあいの里」施設見学
当施設は30床増築されました。
先ず1階の部分は駐車場スペース
となっており、2、3階の部分が
全て個室の洋室となっている。入
居者のプライバシーが保たれ、一
人ひとりの空間と時間が持てる部
屋となっている。広々とした施設
は木のぬくもりさえ感じられる。
生涯安心して過ごせる空間として
の心くばりが感じる。今後の老人
介護施設と
して有効と
思う施設で
ある。
(議員全員
参加)



鳥獣害防止対策特別委員会

委員長 山本 富夫

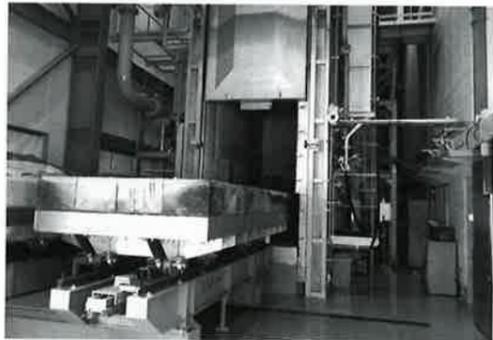
◇6月14日(木)

◇視察先

嶺南地域有害鳥獣処理施設

(若狭町海士坂)

委員会は、4月に供用開始した
嶺南地域有害鳥獣処理施設を視察し
た。供用開始後5月末で537頭
が処理されていた。現在は、週3
〜4回のペースで一日あたり2t
を焼却処分している。本施設は、
㈱ゼロ・カンパニーが指定管理を
受託している。将来は、食肉加工
も手掛け計画を策定中であつた。



鳥獣害処理施設(焼却炉)



嶺南地域有害鳥獣処理施設



高浜町から有害鳥獣を運搬する冷凍車



有害鳥獣を処理施設内に運搬する様子

質疑

議案第43号

平成24年度高浜町
一般会計補正予算(第1号)

井ノ元康夫議員

8款 土木費 道路新設改良費、こ
れは内浦地区の宮尾地区と山中地区
を結ぶ柿ヶ渡線の測量調査設計委託
料1371万3千円と説明であつた。
内容について詳しく説明を。

建設整備課長

重要な生活道路で野原港高浜線
の迂回路であり通行量も多く冬季
には降雪により通行止を余儀なく
されている。内浦関係区からの強
い要望もあつたが、地図混乱地地
あつたことから測量調査以降進ん
でいない。今回新たなルートで測
量調査を行いより実効性のある計
画を進め地区道路網の整備を行う。

上尾徳郎議員

①若宮グラウンド整備工事と新庁舎建
設、城山荘建設検討業務について、
若宮グラウンド整備された後の駐車場
管理と、現在駐車場を、利用されて
いる方に説明されたのか、また子供
会も利用しているが、今後も利用で
きるか。また公園設備の設置は。
②、③新庁舎、公民館観光振興対策

事業、城山公園城山荘の整備に委託
料792万3千円と663万6千円
が計上されているが、内容と委託先
を聞く。

総務課長

①若宮グラウンドは、条例に基づ
いて原則有償で、お貸ししている
が目的に対して勘案できる状況が
ある、また地元の方には、この予
算が通り次第説明する。子供会が
使用する場合は、無償である。公
園化する考えはなく、防災面で
道路の利便性をはかり計画した。

②住民各層から意見を求め建設
検討委員会や職員で組織するプロ
ジェクトチームから出た意見を専
門的な知見をおりませながら事業
所指名競争入札で決定する。

③検討委員会を立ち上げ城山荘
建設と運営のプロポーザルを実施
したい。現状調査業務、地形測量、
縦横断面測量、文化財事前調査を実
施する。コンサル業者による指名
競争入札で決定する。新庁舎と公
園城山荘は、それぞれ別の検討委
員会を立ち上げる。

小幡憲仁議員

①新庁舎と公民館の整備検討業務で
981万5千円の予算が計上されて
いるが、候補地の選定にプロポーザ
ルを認めて町民の意見を集約する決
め方もあるのではないかと。ヤマキ跡
地に建設する前提でプロポーザルを
行うのかを確認する。

②2点目に農林水産業費で園芸畜産
育成強化事業で、道の駅の隣にハウ
ス建設の計画であるが、高浜町には
障害者を雇用する場所が少ないので
雇用を確保する考えはないか。

町長

①教育委員会と役場など行政機
能を一ヶ所に集め公共交通機関な
ど連絡を取りやすくし、利便性を
向上させる。災害対応でも関係機
関と連絡取りやすい場所でありヤ
マキ跡地が一番ベターであると思
う。

まじしへの課長

②平成25年4月より本格稼働す
る計画で町内の農業者、新規就農
者を、3から4名一般公募する。
障害者の方の就業環境等に問題が
なければ事業主体に雇用を検討し
て頂く養成をしたい。

栗野明雄議員

①6款 農林水産事業の漁港管理一
般事業で漁業者が良かったと思うの
は、漁獲高の増加である。
漁業振興とは、どういふことが問う。
②6次産業化で漁業者がその気のな
ってしていただける経営活動の考え
を伺う。

まじしへの課長

①沿岸漁業については取る漁業
から作り出す漁業の転換として、
資源管理漁業へ漁業者自らの取り
組みがなされている。定置網漁業
の支援に従って漁獲も効果を出し
ている。資源の保護拡大のため県
水産課、漁連など連携し協議を進
めながら、放流など対策をこうじ
て行きたい。

②6次産業化については和田漁港
では、婦人部中心に加工事業、内
浦地域では養殖魚で、民宿の展開
が好評を得ている。観光振興と相
まった各イベントにおいても関係
者が積極的にこなっている。
町内の商工会、観光協会、県漁
連の連帯を強化しながら新たな事
業創出に向けた6次産業化に取り
組んで行く。

山本富夫議員

①若宮グラウンド整備工事でグラウンド前の道路のゲートをオープンに出来ないのか。
②懐いききタウン高浜が事業母体で、大規模ハウスを建設しトマトを栽培されるが財産管理団体にしか見えないが、戦略、戦術はどうか。
③中央体育館中央グラウンドが高台にあり防災避難の位置づけであるが、水道山まで散策を含めた防災道路を湯谷区から南区にアクセスしてはどうか。

まじけへの課長

①若宮海岸整備事業で取り組んできた将来的には立石あたりまで進捗する計画であったが、補助がなくなり中止となっている。現段階の道路では、施設管理が出来にくく今後地元の皆様の要望を聞きながら整備を行なっていく。

町長

②県との協議で懐いききタウンが直接農業をするのは難しい状況になり農業ハウスは、事業自体で整備し、生産者が生産、販売するのは無理がある為、販売販路はJAわかさにお願いでいい。
今後の事業計画を今年度見すえ行う。

防災安全課長

③今年度高浜地域防災計画の見直しを図っている。その中で津波対策に関しては現在県の方で福井県の想定津波の高さ又浸水区域データが発表され次第見直し検討判断する。



渡辺 孝議員

土木費 道路維持管理事業で危険箇所監視カメラ設置工事に1250万円が町内5箇所監視カメラを設置し災害発生時に迅速な対応が出来ると思うが、町のホームページで状況を見ることは出来ないのか。

建設整備課長

被害を最小限に食い止めるためカメラの画像見ることによって被害を予測でき、確認することで対応作業が出来る。早期に連絡も出来る必要に応じて移動、増設も出来るシステムである。
将来的には画像を、ネット上で見られるように検討している。

討論

議案第43号

平成24年度高浜町一般会計補正予算(第1号)

反対討論

渡辺 孝議員

本補正予算案は、内容的にも大変大きなものであります。庁舎の移転をせず、現在の庁舎を耐震補強すれば数十年使用できると考える。城山荘、公園整備、漁港整備もゆつくり、ひとつひとつ慎重に実施していくことが大事である。

賛成討論

山本富夫議員

今回の補正で提示された新規事業17事業がある。その中でも防災関係で、雨水対策が遅れている。庁舎は狭く、福祉課、保健福祉課、教育委員会など一体化することで行政の効率化はかかれると思う。

賛成討論

磯辺武史議員

漁港の再整備や城山公園の再整備は、原子力が誘致される以前からあった一次産業振興、観光振興

討論

請願第1号

公的年金の改悪に反対する意見書を求める請願

賛成討論

渡辺 孝議員

高齢者の生活実態は大変厳しく後期高齢者の負担、介護医療費の負担は上がるばかりである。実際には物価が下がったというが、高齢者に縁のないものばかりが下がっている。年金額を下げるのではなく上げるべきである。

反対討論

栗野明雄議員

年金は本来物価スライド制になっている。物価は下降傾向でありその分を修正するもの。急激な物価の変動が生じた時、その変動に合わせて年金の変動になることになる。

平成24年度議員視察研修

6月26日・27日

九州電力玄海原子力発電所

防潮堤のいろいろな発電所

九州電力玄海原子力発電所を視察した。

この発電所は、昭和50年10月に、1号機が営業運転を開始して以来、2、3、4号機と建設され、出力347万8千kWの九州最大の発電所である。

原子炉の型式は、加圧水型軽水炉(PWR)で高浜発電所と同形式である。東北地方太平洋沖地震(津波)での玄海原子力発電所の安全対策の取り組みにと、2号、3号、4号のストレステスト1次評価結果について説明を受けた。



玄海町役場

交付金に
たよらない町をめざして

玄海町役場を訪問し町長、副町長、副議長、副議長、長から町全般の説明を聞いた。
昭和31年に町村合併し炭鉱労働者も多かったがその後石油へのエネルギー転換が進んだ。町勢発展を願って発電所を誘致した。道路をはじめ各施設の整備が進んだが、町長は「発電所もある町」との考えで「青い海、緑の山、清流の川と自然の景観に恵まれた豊かで住みよい町」と定め第1次産業大変に力を入れている。玄海町独自で行っている制度についても説明がされた。その後意見交換を行った。



九州電力 中央給電指令所

最新技術の指令所

九州電力の中央給電指令所を視察した。

ここは電力需要のバランスを保ちながら、最も経済的になるよう各発電所の発電電力を、調整している所である。

電気は一般の物とは違いどこかにストックすることができない、そのために常に生産と消費する量のバランスをとることが必要である。

この指令所では気温、天候、景気、イベントなど需要に影響するさまざまな要因をもとに想定し、最新のコンピュータ技術や情報伝



送技術で、電力の安定供給を九州管内をはじめ、全国の電力会社と応援融通を行っている所である。

九州エネルギー館あかりの館

子供の笑顔あふれる館

九州エネルギー館は昭和57年、九州電力㈱の創立30周年を記念して建設された。総合的なエネルギーの専門展示館で、パソコンや各種センサー、新しい展示技術・映像技術を取り入れるなど、社会教育の実施を目指している。
来館者は平成21年に600万人を達成していて、当日もたくさん小学生たちが、元気で学んでいた。
別館のあかり館では、地元出身の西島伊三雄氏が手がけた童画が、展示してあり季節にあわせて作品の入れ替えをされる。
火をおこす道具から最近の電球まで多くの電球が展示してあった。



ふれあいと対話が築く明るい社会

高 浜 町 保 護 司 会

更正保護活動について

更生保護の目的は、犯罪をした人や、非行少年の改善更生を助け再犯を防ぐことが、第一義的な目的です。

高浜地区には、6名が法務大臣より保護司として委嘱を受け、犯罪や非行をした人たちを社会の中で更正、自立することを手助けしています。

私たち保護司として、保護観察対象者の更正自立には地域の皆さま方に深いご理解とご協力が一番の力添えになります。

そのような中、今年度、若狭地区更生保護女性会に高浜地区4名の女性会員が参加して頂き、女性の目線で私たちをサポートして頂くことにな

りました。ありがたく心強く思っております。

毎年7月の1ヶ月間は全国的な強調月間として「社会を明るくする運動」を展開しています。

町行政、区長様をはじめ各関係者のご支援、ご協力を頂き犯罪予防の諸活動等に、活動資金として協力金をお願いしています。活動参加を町民全体でつくっていき、今一度、この運動を機に地域の絆が犯罪抑止の力となることを願い、誰もが安全、安心に暮らせる明るい社会が実現できるよう、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



法務大臣より町長・議長にメッセージ伝達式



若狭西地区更正保護女性会・高浜地区保護司



街頭での啓発活動

若狭地区保護司会大飯郡支部

●若狭地区保護司会会長

●大飯郡支部長 山崎 勝憲

●総務部・社会貢献活動担当 大田 常雄

●協力部・女性会育成担当 大西ひ紗子

●総務部 田中 孝

●研修部・社会参加活動 松下 重光

●犯罪予防副部長 山本 富夫

●若狭西地区更正保護女性会

江上 博子 橋口 敏子

角谷美佐子 大安ナガ子

編集後記

4月に実施されました町長選挙で野瀬町長が2期目の当選。6月議会において8億の補正予算が上程され議決されました。また、原子力発電所再稼働で国が大きく揺れる中、大飯3・4号機の再稼働が実施されました。高浜原発も再稼働に向けた安全対策が着実に進められていることを議会の視察で確認しました。

さて、高浜町の夏季観光が、低迷する高浜経済の救世主になることを期待したいものです。さらにロンドンオリンピックが開催され日本選手の活躍で元気になれるよう皆さんと共に応援しましょう。

今議会から、編集委員6名が選任されました。町民の皆さまに分かりやすい広報にしたいと思えます。多くの皆さんのお声をお聞かせください。

文責 山本 富夫

広報特別委員会

委員長 井ノ元康夫

副委員長 上尾 徳郎

委員 大塚ひとみ

廣瀬とし子

山本 富夫

西出 秀雄